

愛知民報

2017年
7月2日
第2357号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

前田おさむ、牧野次郎両氏の当選を喜ぶ人たち 26日未明、西尾市



西尾市 旧西尾市地域で奪還、複数議席に

内田たもつ氏の当選を喜ぶ人たち 25日深夜、南知多町



南知多町 激戦制し現有議席守る

西尾市議選
南知多町議選

改憲暴走の自公政権に「ノー」の審判
共産 全員当選

25日投票開票で、西尾市議選(定数30)と南知多町議選(定数12)がおこなわれました。安倍自公政権による「共謀罪」法の強行、首相の2020年9条改憲宣言、森友・加計学園疑惑隠しの暴挙後、県内で初めての選挙です。両市町で日本共産党が擁立した3候補は全員当選。安倍暴走政治に「ノー」を突きつけました。

田おさむ氏は3002票を上回りました。共産党の今回の市議選得票は公明党の得票を14票上回りました。市議選は、榊原康正市長と市議会の自民系

住民運動が広がる中でおこなわれました。日本共産党は、PFI全面見直し、産廃施設ストップ、国民健康保険(国保)税引き下げなどの政策を掲げ、攻勢的な論戦を繰り広げました。

◇

南知多町では日本共産党の新人、内田たもつ氏が634票獲得し11位で当選。今期で引退する山下節子議員の議席を継承しました。

内田氏は、18歳までの子ども医療費無料化を実現した山下町議の実績を受け継ぎ、国保税引き下げ、学校給食無料化、介護サービス拡充、離島住民の船賃軽減、地震津波防災の強化、非核平和宣言の実施などを訴えました。

今期で引退する無所属町議が日本共産党議員は「一貫して憲法を生かそうとしています」として推薦文を寄せました。

東京都議選 2日投票

共産党押し上げへ愛知から支援続々

東京都議選は最終盤。9条改憲、「共謀罪」など安倍政権の「戦争する国」づくり、築地市場の豊洲移転などを争点に、自民党、公明党と日本共産党が正面対決しています。2日の投票日を控え、激しい選挙戦になつていきます。

日本共産党候補の押し上げへ、ビラ配布、メガホン宣伝、電話作戦などをおこなう支援隊が全国から東京に集中しています。

愛知からも連日支援隊が東京入りしています。21、22両日には愛知県委員会の勤務員や民主青年同盟員が江東区に赴き、3選をめざす、あぜ上三和子候補(現)を支援する活動をおこないました。



東京都江東区の、あぜ上三和子東京都議候補の事務所で支持拡大に取り組む愛知の若者=21日